



宇波地区のイチオシ!

まちの タカラ

ユズがつかないだ地域の絆 ～猫の手借り隊～



▲草刈り後のお楽しみ、交流会。
次回の予定の打ち合わせもこのとき行います。
◀早朝から畑の草刈りに励む「猫の手借り隊」の皆さん。

宇波は、3つの谷からなり、オオサンショウウオが生息し、カジカガエルの声が響く、清流に恵まれた地区です。稲作のほかユズやブルーベリーの栽培もされています。8年前から地域の女性有志が「うな民クラブ」を立ち上げ、これらを材料としたジャム作りやこんにやく作りで地域を盛り上げています。

しかし、栽培場所の草刈りは大変な重労働です。頑張っているクラブを手助けしたいと、4年前、当時集落支援員(※)だった加藤喬さんの呼びかけで、無償ボランティアとして「猫の手借り隊」草刈り隊が発足しました。「発案からすく、5・6人が名乗りを上げてくれて、宇波はとても活動をしやすい地域だと感じました」と加藤さんは振り返りました。

隊の活動は、ユズ・ブルーベリー畑の草刈りが主体で、年4・5回草刈りを行ってあるほか、クラブと連携し、ジャム作りにも協力しています。活動後は、飲食を共にし、宇波の将来について語り合います。これが活動の原動力です。この交流により、地域の皆さんが交流センターに訪れる機会も増加しました。

ユズ・ブルーベリージャム、こんにやく作りからできた「猫の手借り隊」「うな民クラブ」の連携で、地域の輪が形成されています。

※集落支援員とは、地域の実情に詳しい人で、市町村職員とも連携しながら、地域に目配りし、巡回、状況把握といった仕事をする人のこと。

編集後記

安来市の人口と世帯数	R5.9.30現在
人口合計	35,948人 (男:17,309人 女:18,639人)
世帯数	14,261世帯

▼今月号の表紙になっている「やすぎ壁画アートプロジェクト」を取材した際に、私も一緒に色を塗らせていただきました。カラフルで素敵な壁画ができてありがた、安来の新たな映えスポットになること間違いなしです。この活動が広がり、華やかな壁画アートを安来のあちこちで見ることができるといいですね(け)

▼認知症への関心が強まっているのか、オレンジフェスタでは幅広い年代の人が参加していました。オレンジカフェやこけなからだ体操など定期的に行われている活動もあります。フェスタでもとても和やかで入りやすい雰囲気でしたので、興味を持った人は、1度参加してみてもいいかがでしょうか(岩)

